三鷹市デジタル・シティズンシップ育成指針

これまでも、学校教育においては、情報活用能力の育成や情報モラル教育において、子どもたちの「情報社会で適切な活動を行うための基になる考え方と態度」等を育成してきました。しかしながら、昨今のデジタル技術の急速な進展、スマートフォンやＧＩＧＡスクール構想に基づく１人１台タブレット端末の普及など、子どもたちを取り巻くデジタル環境は急速に変化し続けています。こうした中、三鷹市教育委員会では、子どもたち一人ひとりが、デジタル機器を日常の道具として活用し、自らの人生と社会をよりよくしていこうとする資質・能力を身に付けることを目指していくことが重要であると考えました。

三鷹市デジタル・シティズンシップ育成指針

三鷹市教育委員会では、**デジタル機器のよりよい使い手となるために考え行動する子どもたち**の育成を目指していきます。

デジタル・シティズンシップを**「デジタル技術の利用における適切で責任ある行動規範を自ら考え行動し、よりよいデジタル市民になるために必要な資質・能力」**と捉え、これまでの情報モラル教育等で実践していた限定的な危機回避や一律のルールづくりに関する学習などを発展・拡大し、子どもたち一人ひとりが積極的に自分の事として考え、子ども同士の対話や大人と子どもとの対話などを通して、「人間力」「社会力」を主体的に発揮できる子どもたちの育成を目指します。

タカミ

デジタル・シティズンシップとは、**よりよいデジタル市民となるため**に、**①適切で責任ある行動**と**②なりたい姿を自ら考え追求**することが大切なのですね。

でも、学校にはデジタル・シティズンシップという教科はないよね？

タカボー

ハカセ

そうじゃ！デジタル・シティズンシップは、教科ではないのじゃ。

しかし、これまでも「情報モラル教育」や「情報活用能力」など教科等横断的にその資質・能力を育成してきたのじゃ。

これからは、それらも含めアップデートしたものとして、**よりよいデジタル市民になるために必要な資質・能力**、すなわち**デジタル機器のよりよい使い手となるため**には、どのようにするとよいのかを様々な学習場面で考え、議論し、育成していくのじゃ。

具体的にはどうするといいの？

三鷹市教育委員会では、よりよいデジタル市民になるために、自ら考え、対話すること、つまり**「熟議」**を通して考えていくことが重要だと考えています！

子どもたち同士の対話、大人と子どもとの対話など、大人も子どもも**当事者**となり、様々な人たちの考え方を否定せず、多様性を認めながら議論することが大切です。

裏面には、令和４年度に行った熟議の視点の紹介をしています。参考にしてみてください。

デジタル・シティズンシップとは

日本国内では、明確にデジタル・シティズンシップの定義はされていませんが、ナショナル・エデュケーション・テクノロジー・スタンダード（ＮＥＴＳ）の 2007 年改訂版の中では、「情報技術の利用における適切で責任ある行動規範」と示しています。また、2020 年欧州評議会では、「デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力」とし、デジタル・シティズンシップ教育を「優れたデジタル市民になるために必要な能力を身に付けることを目的とした教育」と示しています。

令和５年３月　三鷹市教育委員会

やってみよう!!

令和４年度に三鷹市内の学園等で実際に行った熟議のテーマ（視点）を紹介します。実際に各学校や家庭において、これらのテーマについて話し合ってみましょう。

ここで紹介するテーマ（視点）は一つの例です。これら以外でも様々なテーマ（視点）で話し合ってみましょう。

ステップ１　振り返ってみよう！

【テーマ１】　あなたは、スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどでどのようなことをしていますか。

【テーマ２】　テーマ１で考えたことは、次のどの目的のために使っていますか。

① リラックスするため
② 生活に必要なこと（連絡、情報収集など）
③ 学習するため、何かを身に付けるため
④ 社会とつながるため

ステップ２　考えてみよう！

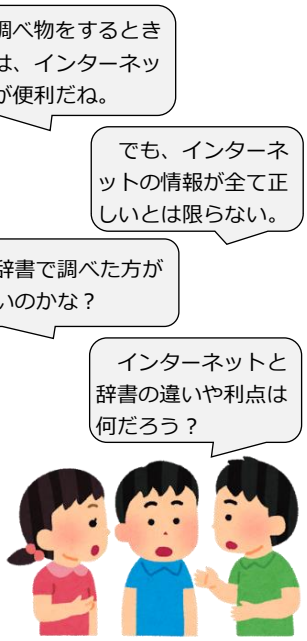
日常生活の中には、たくさんのデジタル機器があり様々な利活用をしています。ステップ１の振り返りを踏まえ４つの場面において、それぞれ考えてみましょう。

【テーマ：娯楽】
デジタル機器を使った楽しいことをいつまでも続けていたい（動画視聴、ゲーム、コミュニケーションツールなど）と思うことや感じることがあるかもしれません。終わりのない楽しみを、どのようにすると終わらせることができるのでしょうか？

【テーマ：生活】
日常生活の中で、デジタル機器があることで便利なこととデジタル機器がないことで不便なこととはどのようなことですか？また、不便なことと便利なこととのそれぞれのよさはどのようなことでしょうか？

【テーマ：学習】
勉強（学習）する際に、デジタル（デジタル機器を利活用する）とアナログ（デジタル機器を利活用しない）学習方法のそれぞれの利点（メリット）や欠点（デメリット）はどのようなことでしょうか？

【テーマ：社会】
インターネットを利活用することで、広い社会（自分の在籍する学級や学年・学校外の人々や日本中、世界中の人々）とつながることができますが、広い社会とつながることでどのようなことがしたいですか？



ステップ３　私の行動宣言を書いてみよう!!

ステップ１、ステップ２を踏まえ、デジタル技術のよりよい活用により、自らの豊かな人生と社会を創ることを目指して、デジタル機器のよりよい使い手としての行動宣言を書きましょう。

＜協力者＞
特定非営利活動法人　青少年メディア研究協会　　代表理事　下田　太一　氏